

Mマガジン・サポーター(店舗情報の詳細は「音楽好きな友の会」公式サイトにてご確認ください)

●公共機関	<ul style="list-style-type: none"> <li>区役所</li> <li>会館</li> <li>会館</li> <li>会館</li> <li>郵便局</li> <li>郵便局</li> <li>郵便局</li> <li>郵便局</li> <li>放送局</li> <li>推進協議会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中原区役所5Fなかはらっば</li> <li>川崎市国際交流センター</li> <li>川崎市生涯学習プラザ</li> <li>かわさき市民活動センター</li> <li>川崎井田郵便局</li> <li>川崎プレーメン通郵便局</li> <li>川崎木月郵便局</li> <li>川崎木月大町郵便局</li> <li>かわさきFM</li> <li>「音楽のまち・かわさき」推進協議会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中原区小杉町3-245 Tel.044-744-3113</li> <li>中原区木月祇園町2-2 Tel.044-435-7000</li> <li>中原区今井南町28-41 Tel.044-733-5560</li> <li>中原区新丸子東3-1100-12 Tel.044-430-5566</li> <li>中原区井田中/町25-1 Tel.044-766-9724</li> <li>中原区木月1-31-5 Tel.044-455-1800</li> <li>中原区木月住吉町11-12 Tel.044-411-9800</li> <li>中原区木月大町11-27 Tel.044-722-3617</li> <li>中原区小杉町1-403 武蔵小杉タワープレイス Tel.044-712-1791</li> <li>幸区大宮町1310 ミューザ川崎セントラルタワー5階 Tel.044-544-9641</li> </ul>
●元住吉西口(プレーメン通り/井田中/町商店街通り)	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽教室</li> <li>ワインバー</li> <li>カラオケスナック</li> <li>鉄板焼</li> <li>ヘアサロン</li> <li>カフェ</li> <li>果物</li> <li>パン</li> <li>コーヒー専門店</li> <li>イタリア料理</li> <li>音楽教室</li> <li>音楽教室</li> <li>コインランドリー</li> <li>理容室</li> <li>接骨院</li> <li>ヘアサロン</li> <li>デザイン制作</li> <li>カフェ</li> <li>時計・貴金属</li> <li>不動産</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>SouleaveMusic School</li> <li>24 Wine&amp;Coffee Stand</li> <li>ROCOCO</li> <li>ゆうき亭</li> <li>キャメルヘアデザイン</li> <li>水谷珈琲</li> <li>フルッコ</li> <li>リップル</li> <li>MUI (旧もとえ珈琲)</li> <li>オステリアポッカーノ</li> <li>島倉学ミュージックスクール</li> <li>有隣堂日吉センター</li> <li>マンマチャオ元住吉店</li> <li>Hair Salon Airs</li> <li>井田名倉堂・栗山接骨院</li> <li>波照間</li> <li>アルケファクトリー</li> <li>フレストコーヒー</li> <li>つたどけてん</li> <li>福街不動産</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中原区木月伊勢町10-1三起ビル302 Tel.044-750-8992</li> <li>中原区今井南町37-13-101 Tel.044-573-3437</li> <li>中原区今井南町37-13-102 Tel.044-733-7777</li> <li>中原区木月1-28-16 Tel.044-434-6999</li> <li>中原区木月1-32-10 中嶋ビル1F Tel.044-872-7375</li> <li>中原区木月1-32-16 1F Tel.044-577-4288</li> <li>中原区木月1-35-1 Tel.044-433-3338</li> <li>中原区木月3-10-20 Tel.044-863-6554</li> <li>中原区木月3-13-2 Tel.044-767-1368</li> <li>中原区木月3-17-16 新井ビルB1F Tel.044-411-1003</li> <li>中原区木月3-35-1ART FLATS B1F Tel.044-567-5490</li> <li>中原区木月4-31-7 Tel.044-411-5701</li> <li>中原区井田中/町4-1 メゾンアッシュ Tel.0120-027-217</li> <li>中原区井田中/町5-3 関根ビル1F Tel.044-755-0273</li> <li>中原区井田中/町6-27 Tel.044-766-0850</li> <li>中原区井田中/町8-1 Tel.044-797-5692</li> <li>中原区井田中/町8-43 Tel.090-4362-5413</li> <li>中原区井田中/町33-1 Tel.044-754-1156</li> <li>中原区井田中/町33-2 Tel.044-766-6022</li> <li>中原区木月祇園町12-1 Tel.044-750-0409</li> </ul>
●元住吉東口(オス商店街通り)	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護センター</li> <li>お茶</li> <li>鍼灸院</li> <li>Cafe+Cake</li> <li>介護センター</li> <li>古本・CD</li> <li>接骨院</li> <li>調剤薬局</li> <li>飲み喰い処</li> <li>イタリア料理</li> <li>STEAK</li> <li>Gステーション</li> <li>音楽教室</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>みずたま介護ステーション元住吉</li> <li>金子園</li> <li>和式整体&amp;整心の「響氣」</li> <li>Baloo(バルー)</li> <li>ツクイ</li> <li>凸つと凹つと</li> <li>オス接骨院</li> <li>綱島街道薬局</li> <li>粋い仙ん</li> <li>自在屋</li> <li>ステーキグラム元住吉店</li> <li>ENEOSダイヤ商事</li> <li>Studio An(スタジオ・アン)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中原区木月2-2-3 メゾンミール元住吉 Tel.044-430-6963</li> <li>中原区木月2-2-36 Tel.044-411-5877</li> <li>中原区木月2-3-35 住吉名店センター401 Tel.044-433-2880</li> <li>中原区木月2-7-8 健庄ビル1F Tel.044-789-9625</li> <li>中原区木月2-8-5MKビル1-B Tel.044-431-0027</li> <li>中原区木月2-10-3</li> <li>中原区木月2-11-12 Tel.044-740-9100</li> <li>中原区木月2-16-10 Tel.044-750-0374</li> <li>中原区木月2-20-47 Tel.044-411-8980</li> <li>中原区木月4-10-6 Tel.044-433-5644</li> <li>中原区木月住吉町7-7 Tel.044-433-4129</li> <li>中原区木月住吉町21-1 Tel.044-411-5863</li> <li>中原区荻宿4-48 Tel.045-312-3146(横浜アオバ楽器)</li> </ul>
●元住吉近郊	<ul style="list-style-type: none"> <li>喫茶室</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>シンフォニー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>川崎市幸区矢上11-1 Tel.044-599-3499</li> </ul>
●武蔵小杉近郊	<ul style="list-style-type: none"> <li>紅茶専門店 喫茶室</li> <li>蕎麦店</li> <li>珈琲店</li> <li>喫茶店</li> <li>喫茶店</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Tea House ローズマリー</li> <li>そばあざひや</li> <li>Cafe TEMO(テモ)</li> <li>Coffee Spot Life(ライブ)</li> <li>ショッパカフェハット</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中原区小杉町3-70-4 ホーユバレス1F Tel.044-733-1076</li> <li>中原区小杉町殿町2-42-7 Tel.044-722-1768</li> <li>中原区上小田中6-1-5 Tel.044-755-8234</li> <li>中原区上小田中6-22-13 Tel.044-722-0024</li> <li>中原区新城1-16-12 Tel.044-788-0116</li> </ul>
●元住吉外郭・他	<ul style="list-style-type: none"> <li>調剤薬局</li> <li>写真</li> <li>レストラン&amp;バー</li> <li>調剤薬局</li> <li>カフェレストラン</li> <li>ジャズ喫茶</li> <li>八百屋</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>駒沢通り薬局</li> <li>PHOTO SHOP 銀嶺</li> <li>Public House びあにしも</li> <li>オレンジ薬局川和町店</li> <li>カンフー・ツリー</li> <li>マッシュマロ</li> <li>八百屋ジャズ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京都目黒区中央町2-40-8 Tel.03-6412-7318</li> <li>東京都港区六本木7-8-4 Tel.03-3408-5406</li> <li>川崎市小川町16-15ヒロサワビル103号 Tel.044-201-1668</li> <li>横浜市都筑区川和町1218-1F Tel.045-929-1005</li> <li>横浜市中区海岸通1-1横浜貿易協ビル Tel.045-211-2200</li> <li>横浜市中区山下町214 巴里堂ビル2F Tel.090-2202-3294</li> <li>東京都世田谷区等々力2丁目16-14 Tel.03-3701-3860</li> </ul>

▲上記、サポーター記載は無料です。



A Free Magazine that Promotes Regional Revitalization through Music

**Mマガジン**

2021年11月16日号  
10月16日発行  
(毎月16日発行)  
第81号

発行・編集: 塚田親一  
編集: 藤田順治 / 大場明弘  
発行: 音楽好きな友の会  
川崎市中原区木月2-21-32  
TEL 090-9398-2889

2021-10-16-800 Printing RK

# M MAGAZINE

●Motsumiyoshi ●Music ●Mate ●Meet ●Memories

## 音友レコード倶楽部

PR動画完成配信中!



11月の集いは中止となりました。

好評連載中「横笛のある暮らし」  
黒沼千比呂

Photo: Yoshiro Yasuda



音楽のまち・かわさき 音楽好きな友の会  
http://ontomo.jp/

後援: ●川崎市中原区  
●「音楽のまち・かわさき」推進協議会  
●公益財団法人 川崎市国際交流協会  
●人形劇団ひとみ座

2021  
11  
November



**安齋あかね(あんざいあかね):ダンサー**  
4才からクラシックバレエを始める。同時期からRMSにてピアノ、オルガンなどを学ぶ。多岐ジャンルで入賞。ミュージカルが好きでタップダンスや社交ダンス等様々なジャンルを学ぶ。日本音楽高等学校バレエ科、昭和音楽大学短期大学部声楽専攻を卒業し、大手テーマパークでダンサー契約。現在パレードやステージショーなどで活躍中。また、Dance&Vocalグループ「Melodet」を結成。誰でも気軽に楽しめるレビュショーを目指しライブハウスや地域イベントに出演中。

連載26

## そして音楽の旅は続く 音楽の他にも、きつい悩みはありました。

ジャズボーカリスト  
星乃けい

official website  
https://www.hoshinokei.com

今は歳を取っていつもヘラヘラ笑っていますが、若いYAMAHA時代も東芝EMI時代もアーティストの私は笑うことが本当に少なくて、周りからは生意気だと言われていました。若い時は感情がもろに顔に出ているように。北九州市の小さな町から生きた馬の目を抜く東京に18歳で一人で上京し、音楽業界で生きてゆく...おのずとガードも硬くなりますよね。周りにはこの業界の酸いも甘いも噛み分けた大人達ばかりなので、騙されないように踊らされないようにと、小心者の私はいつも心に鎧(よろい)を着ていました。歌をずっと唄っていたという譲れない唯一の信念でしたから、何かの判断を迫られたときは「これって、唄うことに必要?いや、必要じゃないかも?」と鎧の中でいつも考えたものでした。



ろサポートして下さる方には信頼して素直についていきましたが、中には「ちょっとそういうことは無理!」という注文を出す方もいらして。そういう時、若い私は上手く立ち回ることができなかつたので、ピンときた瞬間にムツとしゃやちやて、笑うどころか鎧に槍までおまけに付けて相当に感じ悪かったと思います。こういう事には仲介者が居るのですが、私がまったく言うことを聞かない時はさっさと頭にきたらうな~ハハハ~だ!

それに加えて、雑誌の撮影も悩みの種でした。特に男性誌の撮影にはいつも最強の鎧で挑みました。普段、男性誌を見ることはないけれどグラビアはヌード写真だらけですよ。絶対にヌードはやらない!と戦闘モードで撮影をこなしていました。ある日の撮影場所はホテルの部屋、マネージャーも抜きでカメラマンと二人きり。ベッドに腰かけてブラウスのボタンを一つ外してと言われて外すと

「あー綺麗なね~。じゃあもう一つボタンを外して」って。悪いけれど私は踊らされませんよ!と意思をハッキリ伝えたかったけれど「ごめんさーい、出来ませーん」と逃げ帰る始末でした。スタッフの皆様、ボツになってすみませんでしたね。あれもこれも上手く立ち回れば今と違っても人生があつて、それはそれで良かったかもしれませんが、今でも唄っているこの生き方に大満足をしているので正解だったかもしれませんね。EMIでヒット曲が出て、ゴールドディスクも貰って順風満帆でした。どういった小さな幸運が少しずつ届き始めたころ、さらに嬉しいニュースが届きました。アルバムを発売してくれるって!



2005年12月14日、ジャズシンガーとして待望のリリースアルバム「I'N NEARNESS OF YOU/星乃けい」、2006年12月20日「IN A SENTIMENTAL MOOD/星乃けい」をリリース。ジャズファン、ジャズメン、オーディオファンから高く評価支持される

一番の悩みの部分ではなく、実は他にありました。〇〇大賞の審査員とか大手企業の社長とか〇〇プロデューサーなどの権力を持った方々とのお付き合いには、どんな方なのか細心の注意を払わなければなりません。今の私からは想像できないかもしれませんが、若い頃は痩せてスマートだったので...その辺のことはご想像にお任せ致します。いろいろ

**音友レコード倶楽部PR動画!**  
「音友レコード倶楽部」をわかりやすく説明したPR動画を是非ご覧ください。

**島倉学ミュージックスクール**

驚くほど歌い方が上達する  
「島倉学メソッド」

歌が人生を変える  
音楽は決して貴方を裏切らない

**島倉学ミュージックスクール**

開校9周年記念 ヴォーカルコース発表会

**第11回 Dream Live 2021 開催決定!**

2021年11月3日(水・祝) 開演 14:00 開演 14:30 入場料 ¥2,000  
会場 川崎市国際交流センターホール 出演 スクール在校生/島倉学

【プログラム】  
第1部 Vocal Live  
第2部 Musical & Classic Concert  
第3部 島倉学 Solo Concert 2021 ~ 敬慕者 ~

主催: 島倉学 主催: 島倉学ミュージックスクール 後援: 島倉音楽事務所

TEL 044-567-5940

**川崎市国際交流センター**

**中国語・韓国語による国際理解講座**

【中国の伝統音楽と琵琶体験】▶12月4日(土)14時~16時  
講師: 佐々木爽(琵琶奏者)  
中国語で、伝統的な音楽についてのお話と琵琶体験。

【韓国社会の男女問題】▶12月18日(土)14時~16時  
講師: 李季文(詩人、語学講師)  
韓国語で、伝統社会から現代社会まで、男と女の問題を楽しく考察。

●会場: 川崎市国際交流センター  
●受講費: 各550円 ●定員: 30名、通訳なし  
●申込方法: 10月15日(金)10時より ホームページ、電話、直接で(先着順)

**川崎市生涯学習プラザ**

**第106回 ランチタイム・ロビーコンサート**

●日時: 11月18日(木) 12:00開場/12:10開演/12:40終演予定  
●場所: 川崎市生涯学習プラザ ●料金: 無料  
●出演: オカリナアンサンブルKuMu

●講師の熊谷美果より、ごあいさつ  
2019年春より2回のペースで生涯学習プラザ101活動室にてスタートし、2021年1月より2クラス(初級/中級)に分けて楽しくオカリナを吹いています。簡単に吹けそう?!に見えて、実は奥深いオカリナの魅力に苦戦しながらも、美しいハーモニーを目指してゆっくり着実に上手くなっているメンバーの演奏をどうぞお聴きください!

【来場の注意】  
マスク着用、連絡先記入、検温、入場制限がございます。

●お問い合わせ  
(公財)川崎市生涯学習財団  
総務課 総務係  
ロビーコンサート担当  
TEL 044-733-5560  
E-mail: concert@kpal.or.jp  
川崎市中原区今井南町28-41

●お問い合わせ  
川崎市国際交流センター  
TEL 044-435-7000  
FAX 044-435-7010  
E-mail: kiankawasaki@kian.or.jp  
ホームページ: https://www.kian.or.jp  
川崎市中原区木月祇園町2-2  
元住吉駅から徒歩10分

●お問い合わせ  
こちらから  
琵琶奏者の佐々木爽さん

●お問い合わせ  
こちらから  
オカリナアンサンブルKuMu

●お問い合わせ  
こちらから  
熊谷美果

## 連載-Take 7 「イダカフェ」というジャズ喫茶。 塚田 親一

元住吉駅東口の小さな喫茶店で月2回、「軽音楽」と「ジャズ」の日として「懐かしのレコードを楽しむ集い」のレコードコンサートを開催していた。そんな「イダカフェ」で「懐かしのレコードを楽しむ集い」を開かないかとオーナーが申し出てくれた。20代にロックバンドを組んでいたと言う音楽好きなオーナーは、レコードの再生に伴う音響装置の常設まで申し出てくれた。女性が主だったカフェが時としてジャズ喫茶に変貌すると言うのだ。珈琲・紅茶などのドリンクサービスをしながらジャズを聴くのである。筆者はその話に飛びつき週一の「ジャズ喫茶」を運営する事になったのだ。料理を作りコーヒーなどのドリンクサービスが可能だろうか。遊びではなくお金をいただいて音楽と料理を提供するのだ。やはりそれなりのスタッフが必要だ。飲食の経験がありレコードコンサートの常連だったサクソプレーヤー、松波陽介さんに声をかけてみた。ありがたいことに快く引き受けて貰え、後に音友会の演奏スタッフにも参加して貰えた。毎週金曜日は「イダカフェ」が「ジャズ喫茶・クールダウン」と名付けてオープンした。ついでにこのスペースであればライブも可能ではない

か、楽器本来の生音での演奏であれば近隣には迷惑はかからない。そしてPAを最低限でのアコースティックライブが始まった。2014年12月、志賀由美子が「yunicoのリトルタイム・ライブ」を皮切りに「新井光子&出村克明ライブ」「くじら座アコースティック・ライブ」「永瀬晋アコースティックギター・ライブ」「浅井晴香 & JAZZ・フレンドリー・ライブ」、そして閉店記念には岩浪洋三氏も日本を代表するジャズ歌手と称した「星乃けい2018NerYearライブ」を最後に2019年4月に「イダカフェ」は解体された。天井が吹き抜け、壁が木板、クラシックソファの田島華乃が親子で参加のママのおひざで聴くヴァイオリンコンサートを開催していた。



▲イラストは、「音友会」の発起人が描いた当時のイダカフェ。



連載19 団塊じいのジャケ買い履歴

狂おしいほど繰り返して聴いたシングル・レコード。 神山 昇



▲Alone Again / Gilbert O'Sullivan シングル・レコードは減多に買わなかったがラジオから流れたのを聴いてなかなかレコード屋さんに飛び込んだ。

建築業の下請けをしていた私の実家には職人や事務員が建て増しの狭い宿舎のようなアパートに、十数名が住んでいた。会社が休業日となると、大方の男達は市バスに乗って川崎の繁華街に出かけ映画を見たりパチンコをしたり、中には競輪・競馬で月給を使い果たす輩もいた。

宿の女”であった。汗水働き入れてくれた両親の期待を裏切り、大学を中途退学していやいや家業を手伝ったり、くだらない漫画を描いたりして時間を浪費していた私は、とにかく毎日がイライラしていた。だから、繰り返し、繰り返し流れる“新宿の女”には名曲も、凶器となって迫っていた。

ところがである、私もその狂おしいほど繰り返し聴くシングル・レコードがあった。さぞ、近隣の住人さんには迷惑をかけたことだろう。

1969年の映画『真夜中のカーボーイ』の主題歌に使われたハリイ・ニルソンの“うわさの男”と1972年、ギルバート・オサリバンの“アローン・アゲイン”である。

いい曲だと思っても、私は減多にシングル・レコードは購入しない。少し我慢して時間を置き、それでも欲しいとなったらLPを買う。だから、大金を叩いて買っただけの価値が十分必要な曲に絞られる。そんな条件を度外視し、衝動買いしたのが上記の2曲だった。

朝から夜まで、それこそすり減るまで聴いた。何故だろう。14、5曲ぐらいを

一日中繰り返し聴くLPレコードは、さほど珍しくはないが一曲を8時間ぐらいぶっ通しでかけるのだ。レコードを回さなくても2、3日は頭の中で繰り返されることも覚悟の上だ。つまり薬物依存のごとくなる曲があるということだ。

ハリイ・ニルソンといえばジョン・レノンが、ポール・マッカートニーの代わりに組みたいと言わせた、そんな噂がある七色の声で有名だった。しかし、ファンの期待を裏切りアルコールと薬物によって声が潰れてしまい音楽活動がままならなくなった。そして52歳という若さで亡くなった。

ギルバート・オサリバンの“アローン・アゲイン”を初めて聴いた時の勝手な解釈は「彼女にふられてしまったが、なんとか立ち直って一步一步前に進もう」そんな気で聴いてた。まるで今の自分と同じだと、丁度失態した情けない自分と重ねて聴いていたのだ。

ところが英語の得意な友人が「とんでもない、これって自殺する前の心境を歌った曲だよ」となってこれまた複雑な気持ちになった。そんな日がまるで昨日の様に思い出される。

特別寄稿 Music Conversations 音友レコード倶楽部・音楽談義

ラジオ放送、そして「ライトハウス」へ

藤田 順治

思えば中学生時代は中間、期末試験前の勉強時にAMラジオから流れる深夜放送(当時、一番よく聞いていたのは「オールナイトニッポン」で糸居五郎氏、高島秀武氏、後に日本放送社長となった亀淵昭信氏等がパーソナリティを担当)に耳を傾け、その間に流れる洋楽のヒット曲を聴いていた。俗にいう長良族である。その時に聴いていたいくつかのヒット曲名は未だに覚えている。そして高校時代になるとAMより音質の良いFM放送へと突入。当時のラジオテマで特に記憶に残っているのはトラフィックの「グラッド」(写真①)やラムゼイ・ルイスの“サン・ゴッデス” (写真②)、そしてネッド・ドヒニーの“トゥ・ブルー・マイ・ラブ” (写真③)など。そして深夜に流れていた1曲の出会いがこのグループとの長い付き合いの始まりとなる。余り馴染みがないとは思いますが、そのグループ名は「ライトハウス」、そして曲は“ある晴れた朝” (写真④)。初めてこの曲を聴いた時、カッコよくビビッという感触があった。ベースとドラムによるリズムセクションのイントロ、そして覆い被せる様にかきならされるリズム・ギター、更に分厚く被せるベース及びストリングスセクションのサウンド、そしてゴスペル色のある独特なリード・ボーカル、どれ1つが抜けてもこの曲は成り立たなかったであろう。すぐに当時渋谷の道玄坂にあったヤマハ渋谷店に行き、このLPを購入。それ以降も彼ら

のレコードが出る度に探しまくり、1976年に一旦解散するまでこのグループのアルバムを買って漁った。その後、このグループに関する噂は聞かなくなつたが、1992年に3人のオリジナル・メンバー(スキップ・プロコップ(Ds)、ポール・ハフォート(Key)、ラルフ・コール(G))を中心としてバンドは復活し現在も活動を続けている。ただし、リーダーであったスキップ・プロコップは2017年に亡くなり、現在ドラムの後任は息子のジェイミー・プロコップが務めている。それではこのグループのプロフィール等を紹介していこう。「ライトハウス」は1969年にカナダのトロントで結成され、ジャンルとしてはシカゴやBS&Tと同様、ブルースの類に入る。しかし、他のブルースグループと異なる点はチェロやピッコロなどストリングスのメンバーを含んでおり、サウンドはロックに留まらずジャズやクラシック、民族音楽などの影響も受けている事である。その為、ライブではクラシックオーケストラと共演したり、ニューポートなどのジャズ・フェスティバルに参加した事もある。リード・ボーカルが変わるたびにサウンドが変化しており、1969年結成当初はフラワー・ムーブメント全盛時代であった為、サイケデリック的なサウンド要素もあった。また、初期にはビートルズの「ア・デイ・イン・ザ・ライフ」等オリジナル以外の曲も積極的に取り入れている。その後1970年大阪に於ける万

国博覧会開催時にカナダ館のイベントに合わせて来日し、日本における最初のライブ演奏を行っている。その時に日本のロックバンドであるフラワー・トラヴェリン・バンド(内田裕也氏がプロデュースし、ジョー山中氏(Vo)、石間秀機氏(G)等が在籍)と親交を温め、ライトハウスのオリジナル・メンバーであったポール・ハフォートが全米における彼らのアルバムデビューに一役買った事もある。その後1971年に“ある晴れた朝”がヒットし、サウンドはスタンダードなブルースロックへと変化していった。現在まで10枚のアルバムを制作し、ラストアルバム「ソング・オブ・ザ・エイジズ」(写真⑤)を再結成後の1993年に発表している。アルバム1曲目は英国調バグパイプを思い出させるイントロから始まり、ラスト曲はジャジーなインストルメンタルで締めくくる。ストリングスのメンバーはいなくなったが、全体的に時代にマッチしたTOTO風なハードロックサウンドに様変わりしており、聴けば聴くほど味わい深いものとなっている。また、初期3枚のアルバム制作時に在籍していたトロンボーン奏者ラス・リトルが久しぶりにこのアルバムで何曲かソロを吹いている事も懐かしく思われた。これから何かある度に「ライトハウス」のアルバムを引っ張り出して聴き続けるであろう。

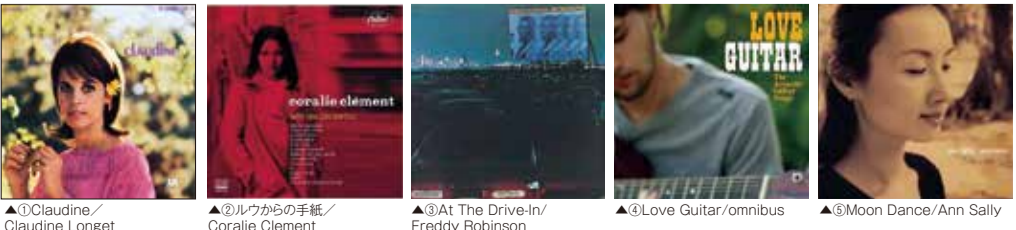


▲1Traffic/John Barleycorn Must Die ▲2Sun Goddess/Ramsey Lewis ▲3Prone/Ned Doheny ▲4One Fine Morning/Lighthouse ▲5Song of the Ages/Lighthouse

ほっとひと息、寛ぎの時を音楽とともに 白仁田 一浩

ストレス社会と言われる現代、特に昨今はホッと一息ついてゆったりと安らぐ時を少しでも持ちたいものです。音楽が疲れた心を解きほぐしてくれる。そんなアルバムは星の数ほどあると思いますが、今回は筆者の所有するLPアルバムの中から5枚を紹介したいと思います。まずはフレンチ・ポップスを2枚。クロディーヌ・ロンジェの「Claudine」(1967年・写真①)は、フランス語詠りの英語と甘く繊細な歌声で人気を博した彼女のデビューアルバム。コラリー・クレモンの「Salle Des Pas Perdus (ルウからの手紙)」(2001年・写真②)は、温もりあるフランス映画を見ているかのような牧歌的な雰囲気溢れ心癒してくれる1枚。いずれも耳元で優しく囁くように歌うウィスパー・ボイス。この上ない聴き心地の良さに浸りきって下さい。続いてブルース/ジャズ・ファンク・ギタリスト、フレディ・ロビンソン、知名度はあまり高くないミュージシャンですが、「At The Drive-In」(1972年・写真③)は知る人ぞ知る名盤。1曲目が流れた途端、思わず身を委ねたくなる心地良いリズムに全身が包み込まれます。70年代録音特有の柔らかみある音質、そして全編に漂う何ともまったりとした気合い脱力感が聴き手を引き込んで離さない好盤。ギター系をもう1枚、2007年当時話題のミュージシャン達が奏でる気持ちの良いアコースティック・ギターのカバー曲集「Love Guitar」(写真④)。音量をやや控えめにして静かに聴いてみたいアルバム。穏やかで優しいギターの音色が安らぎを与えてくれます。安らぎといえば外せないが癒しボーカルの代表格、アン・サリーの「moon dance」(2003年・写真⑤)は幅広いジャンルからのカバー曲集で、とりわけ“蘇州夜曲”と“星影の小径”がもたらしてくれる寛ぎは極上の一言に尽きます。

締めくくりには日本のジャズから、バイオリン奏者、寺井尚子の「Original Best 1998-2001」(2004年)。タイトルの通り、彼女のオリジナル曲ばかりを集めたベストアルバム。バイオリンの調べの麗しさとメロディーの美しさが見事に融和した珠玉のセレクト集です。以上アルバム、収録曲の殆どが心地よいスロー～メディアムテンポで理屈抜きに寛げるものばかり。休日の昼下りに美味しいコーヒー片手に、または晩秋の夜にお酒を飲みながら...耳と心をじっくりと傾けてみては。本来なら「音友レコード倶楽部」の会場で皆さんにDJ紹介しながら楽しみたいのですが、新型コロナの影響で昨年11月から残念なことに休会を余儀なくされています。そろそろ落ち着いて暫くぶりに開催出来るかと思いますが、「音友レコード倶楽部のPR動画」も配信していますので開催時の参考にしてDJを聞きに来て下さい。



▲1Claudine/Claudine Longet ▲2ルウからの手紙/Coralie Clement ▲3At The Drive-In/Freddy Robinson ▲4Love Guitar/omnibus ▲5Moon Dance/Ann Sally

連載03 横笛のある暮らし 続・思春期とフルート

黒沼千比呂



黒沼千比呂(くるぬまちひろ):フルート奏者 武蔵野音楽大学卒業。現代のフルートのみならず、ルネサンス・フルート、バロック・フルートなど、当時の楽器や奏法を積極的に取り入れる古楽演奏でも活動しています。フルートアンサンブルQuatuor acorde、コンソー、パルティカ、コレテ・デル・トラヴェルソのメンバー、フルート教室ホルテ主宰。演奏会の企画、運営、広報デザインなども担当。http://www.porteflute.weebly.com

本番は11月。夏休み前にすでに楽譜を渡されていたが、受験もない中3の夏は遊んでいるうちにあつという間に過ぎ去り、技術的にも難しかったその曲を後回しにしているうちにあつという間に新学期になってしまいました。夏休み明けに音楽の先生に聴いていただきことになっていましたが、もちろんほほ吹かせませんでした。その時に先生からお叱りを受けたのですが、人生においてあれほど本気なお叱りを受けたのは後にも先にもあれだけではないかと思っています。引き受けたからには責任が伴い、期日に間に合わせる義務がある、といううな趣旨でした。至極真つ当です。2週間期日延長していただき、そこから猛練習しました。今吹こうと思ってもある程度練習期間を設けないと厳しいような、技巧的にも凝った旋律を作ってくださいましたので、練習はとてむいので楽器が滑ってしまつてほとんど音が出なくなる、なんてこともよくありました。そんな私にとっての久しぶりのステージが、とてつもなく大きな舞台で1週間以上前から緊張張っていたような気がします。失敗してみんなに迷惑をかけるのではないかと毎日鬱々としていました。本番当日は飲み物以外何も喉を通らず、極度の緊張状態でした。演奏中のことはとても断片的にしか覚えていないのですが、意外と落ち着いて演奏できました。反復練習で、無意識でも反射で吹けるほどになっていたことで、音楽的に良いか悪いかは置いておいて演奏自体は無事終えられました。実はその直後吹奏楽の出番で、途中から安心したのか張り詰めていた緊張が解け、今度は逆に過換気症候群に。経験があったので自分でコントロールができましたが、演奏が終わって舞台袖に戻ってから気付くと救護室で横になっていました。

休んだらすっかり元気になって、1日中食べていない食欲も旺盛で、あつという間に元通りでしたが。後日本番の演奏の映像を観て、自分の目と耳で確かめてやつと本当に安心したのを覚えています。沢山のお客様の前で、あの曲を吹ききつたというのが自信に繋がります、また当たり前のことではあります練習すれば吹けるようになるんだと実感できたのも大切な機会でした。高校2年生の夏、初めて門下合宿に参加しました。宮下先生と当時まだお元気だった立花千春先生のお弟子さんが集まって、レッスンを受たり、ほかの人のレッスンを聴講したり、最終日には発表会があったり私にとってとても刺激的な多岐合宿でした。同じく音大を目指しているような高校生や、音大生などとして出会ったのもここで。プロとして演奏活動されている方も参加していて、世の中にはこんなにもフルートが上手な人がいっぱいいるのかと衝撃を受けました。フルートのレパートリーどころクラシックの曲にあまり詳しくなかった私は、この合宿を通してフルートのレパートリーを知ることになります。また、この合宿で先生との距離感がグッと近くなりました。友達や先輩と話している素の私を見て、大人しい子じゃなかった!となったそうです。隠していたわけでもありませんでしたが、先生に対してオープンになることが出来て、その後のレッスンも本当に通いやすくなりました。

結局小学生のころから思い描いた音大進学に向かって遅々とした歩みでは



「フラウト・トラヴェルソ」バロック期に用いられたフルート。縦笛リコーダーが主流であった当時「traverso(横向き)」のフルートと呼ばれた。上はジャック・マルタン・オトテール製作楽器のコピー(392Hz)、真ん中はヨハネス・ヒャキントス・ロッテンブルグ製作楽器のコピー(415Hz)。下はアウグスティン・グレンザー製作楽器のコピー、及びピッチ変更用の替え管(415Hz,440Hz)。

連載62 「くじら座」日記

赤黄色の金木犀 牧野 憲人

決して状況に媚びない姿。雑踏を振り抜けるように、風を切って現れる歌声。心地良い、そんな当たり前な言葉で形容できるだろうか?心に寄り添う歌声とは、常に優しく冷たさが同居しているものだ。少しはにっこりながら喋るMC。その不器用さこそ、彼女が“生粋のシンガーソングライター”であることを証明していた。21歳、少しブルーな目つきで、淡々と歌う姿が魅力的だ。その佇まいは人間的な落ち着きからか、それとも彼女が背負ってきた人生そのものか。一般的な水準から見れば、勢いや炎り、そして背伸びといった若さゆえのハツリが見え隠れする年齢だ。しかし、彼女からはそれらを一切感じない。これが彼女の持つ、表現者としての魅力と言える。写り映えや見え方はなく、自分の歌を最も大切に。これこそ当たり前な

ことなのだが、そんな若手の女性シンガーソングライターに出逢えた「不自然さ」が、とても嬉しかった。10年前に21歳だった私が当時よく言われたのが、「もって尖れ」ということ。今振り返ると、21歳に本当に必要だったのは、決して尖ることではなかったと感じる。当時の自分に会えるなら、私はきっとこう声を掛けるだろう。「もって知れ」と。何事も、知っているか知っていないか、これほど大きな差はない。言葉に信頼を持たせるのが知識であり、重さをつけるのが経験である。シンガーソングライターに求められるのは両方だ。今年もこの季節がやってくる。西から少し肌寒い風が吹いて、秋の香りを運んで来ていた。



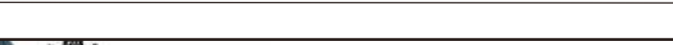
連載43 Course: Addicted to Guitar

ファンクギターの花形、カッティングソロ 永瀬 晋

お世話になっております。今月もまたギターを始めたいばかりの方に最適なギター小ネタをソウリーヴ・ミュージック・スクール永瀬晋がお送りいたします。このころ継続中のファンクギターカッティングの続きです。カッティングと言いますと、ダンスミュージックの伴奏という意味合いが強いイメージですが、通常のギターソロの代わりとして使うと、グルーブを維持したままソロに入ることが出来てかなり効果的です。早速コツですが、適当に音を無作為にカッティングするというよりは、ある程度パターンを決めて(モチーフを決

て)展開させるのが、キャッチーな雰囲気が出て良いですね。では譜例を見てみましょう。まずは1小節目でモチーフを決めて、2小節目もモチーフを継続、2小節目の締めでフレーズを展開させます。※フレーズの軸はAmペンタトニック

スケールです(6thがひとつ足されています)。この調子で3小節目、4小節目で更に展開させていくとかなり強烈なグルーブが生まれます!是非セッションでお試しあれ!というわけでまた次回!



ソウリーヴ・ミュージック・スクール Souleave Music School http://souleave-music.com/ 元住吉駅徒歩3分、武蔵小杉駅徒歩13分 チケット制 音楽教室 Tel 044-750-8992 AM8:00/PM22:00start

MOTTON CLUB 地域の、全国のミュージシャン、そして音楽活動に関わるあらゆる人をネットワークしたい。演奏の場を創り、ライブと楽曲の発信活動を後押ししていくことが目的です。元住吉から世界に向けて配信して行きます。アーティストメンバー募集中!! 現在、登録アーティストメンバーが演奏動画を配信しています。演奏者の方々で「モットンクラブ」から配信希望の演奏動画を募集しています。(近郊で企画、運営可能なスタッフメンバーを募集中です)